



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,859	△5.2	813	△22.8	810	△24.2	552	△24.2
2018年3月期	17,788	△2.2	1,053	29.6	1,069	38.5	728	38.5
(注) 包括利益	2019年3月期		648百万円 (22.8%)		2018年3月期		528百万円 (△34.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2019年3月期	113.42	—	9.1	4.7	4.8	
2018年3月期	149.66	—	13.0	6.1	5.9	
(参考) 持分法投資損益	2019年3月期		—百万円	2018年3月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2019年3月期	16,829	6,376	37.9	1,309.16		
2018年3月期	17,321	5,825	33.6	1,196.04		
(参考) 自己資本	2019年3月期		6,376百万円	2018年3月期		5,825百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	427	△13	△795	2,203
2018年3月期	1,718	△649	△1,297	2,586

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	13.4	1.7
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	17.6	1.6
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		17.4	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	0.2	400	△24.5	400	△22.5	275	△21.5	56.46
通期	17,300	2.6	820	0.8	820	1.1	560	1.4	114.97

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	5,155,600株	2018年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2019年3月期	284,714株	2018年3月期	284,714株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	4,870,886株	2018年3月期	4,870,948株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,859	△5.2	809	△24.9	817	△24.1	558	△21.4
2018年3月期	17,788	△2.2	1,077	35.0	1,077	39.0	711	34.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	114.75	—
2018年3月期	146.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	16,827		6,396		38.0		1,313.16	
2018年3月期	17,295		5,837		33.8		1,198.50	

(参考) 自己資本 2019年3月期 6,396百万円 2018年3月期 5,837百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、引き続き緩やかな回復を続けつつも、中国や欧州など海外経済の減速の余波が広がるなど、景気の先行きは不透明な状況となっています。当社グループが属する流通業界におきましては、雇用者所得の増加が消費につながらない中、価格競争・差別化競争・シェア獲得競争は激化し、引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような状況の下、当社グループは、本年度から始まる中期経営計画のミッションとして「日本一の靴総合販売会社となるために、靴通販および単店で靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す」を掲げ、靴を主体としたヒラキ開発商品の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における連結売上高は、168億59百万円（前期比5.2%減）、営業利益は8億13百万円（前期比22.8%減）、経常利益は8億10百万円（前期比24.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億52百万円（前期比24.2%減）となりました。

当社グループの報告セグメントの当連結会計年度における業績は次のとおりであります。

#### ① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、テレビCM放映、食品スーパーを中心とした2万店舗への無料カタログ設置、8月・2月のスクール応援キャンペーン、LINE@お友達30万人突破キャンペーンなどを展開し、新規顧客の獲得と既存顧客のリピート率向上に取り組んでまいりました。また、商品面では、販売累計110万足を突破した「JOG軽」シリーズの最新作「JOG軽・Knit」、新商品の「ライトフリース タートルネックシャツ」を始めとした販売促進商品の受注は堅調に推移しましたが、サンダル・ブーツ等の季節商品が長雨・暖冬等天候の影響を受けたこと、また、主力商品であるスニーカーが、お客様ニーズを充足するに至らず受注をけん引することができませんでした。

この結果、売上高は受注件数の減少が影響し、87億86百万円（前期比6.1%減）となりました。利益面では、売上総利益率の改善およびカタログを主体とした広告宣伝費の削減を図りましたが、配送費の高騰ならびに減収による売上総利益の減少により、セグメント利益（営業利益）は、10億55百万円（前期比14.7%減）となりました。

#### ② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数・買い上げ点数アップおよび自社開発商品の販売強化に加え、長期・短期を織り交ぜた55ヶ所での出張販売を精力的に実施しましたが、自社開発商品の拡販が計画通りに進まずサンダル・ブーツ等の季節商品を主に靴の販売に苦戦しました。

この結果、売上高は76億28百万円（前期比3.1%減）となりました。利益面では、チラシの効率的配布による広告宣伝費の削減を図りましたが、売上総利益率の高い自社開発商品の売上構成比が低下したことが影響し、セグメント利益（営業利益）は、78百万円（前期比39.3%減）となりました。

#### ③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、新規先の開拓が順調に進み売上増加に寄与しましたが、一方、大口先2社への販売が価格競争および商品の納品延長等により前期を大きく下回りました。

この結果、売上高は4億44百万円（前期比20.6%減）となりました。利益面では、減収の影響によりセグメント利益（営業利益）は、44百万円（前期比23.8%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、2億46百万円減少し、105億86百万円となりました。これは、現金及び預金が5億48百万円減少し、商品が1億77百万円、有価証券が1億円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、2億45百万円減少し、62億43百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億56百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億92百万円減少し、168億29百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、3億41百万円減少し、44億24百万円となりました。これは、未払法人税等が1億26百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、7億1百万円減少し、60億27百万円となりました。これは、長期借入金6億31百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、10億43百万円減少し、104億52百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、5億50百万円増加し、63億76百万円となりました。これは、利益剰余金が4億55百万円、繰延ヘッジ損益が1億3百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.3ポイント上昇し37.9%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ、3億82百万円減少し、22億3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億27百万円（前連結会計年度は17億18百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益8億10百万円の計上、減価償却費3億3百万円の計上、たな卸資産の増加額2億4百万円、法人税等の支払額3億63百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13百万円（前連結会計年度は6億49百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出37百万円、無形固定資産の取得による支出44百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、7億95百万円（前連結会計年度は12億97百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入19億円、長期借入金の返済による支出25億30百万円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

(次期(2020年3月期)の見通し)

次期におきましては、わが国経済は一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中、各種施策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方、10月に予定されている消費税増税の影響、深刻化する人手不足に伴う人件費・物流費の高騰、根強い生活防衛意識による消費マインドの停滞等不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループが属する靴・衣料品・日用雑貨小売業界を取り巻く環境も、市場規模が伸び悩み、ますます競合が激化し、経営環境は厳しい状況となることが予想されます。

このような状況の下、次期は第二次中期経営計画(2018年度～2020年度)の2年目に当たり、「ユーザーインの発想による新たなビジネスモデルの構築」を年度経営方針として、「他にはない 他ではできない それがヒラキです。」をスローガンに、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

通信販売事業におきましては、「新規顧客の獲得とリピーターの拡充」に不可欠なお客様ニーズに合致し需要を喚起する商品力の強化を第一方針とし、販促面では、ターゲット別広告の推進や画像レベルの向上等WEB戦略を更に強化してまいります。

店舗販売事業におきましては、「顧客満足度の向上と収益力の強化」を事業部方針とし、主力の靴カテゴリーの強化と自社開発商品の売上拡充の両面作戦をとり、市場トレンド、すなわち顧客ニーズに即した商品の仕入れ・販売に努めてまいります。

卸販売事業におきましては、「新規大口取引先開拓と大卸しの再構築」を事業部方針とし、既存取引先への販売拡大ならびにB to B営業モデルを確立すべくECサイトを活用し、新規顧客の獲得とリピート率向上に努めてまいります。

以上により、2020年3月期の連結業績見通しにおきましては、売上高173億円(前期比2.6%増)、営業利益は8億20百万円(前期比0.8%増)、経常利益は8億20百万円(前期比1.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億60百万円(前期比1.4%増)を予想しております。

#### ※見通しに関する留意事項

この資料に記載した見通しに関しましては、現時点で得られた情報に基づき判定した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当面は日本基準を採用することとしております。IFRS(国際財務報告基準)の適用時期は決定しておりませんが、今後の動向を注視して、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,487,999	5,939,393
受取手形及び売掛金	1,102,442	1,053,215
有価証券	-	100,000
商品	3,115,689	3,292,763
未着商品	37,485	67,742
貯蔵品	16,568	13,640
その他	91,910	135,782
貸倒引当金	△19,111	△16,443
流動資産合計	10,832,984	10,586,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,132,921	7,165,748
減価償却累計額	△4,436,556	△4,625,710
建物及び構築物(純額)	2,696,364	2,540,037
機械装置及び運搬具	146,746	147,048
減価償却累計額	△139,815	△141,871
機械装置及び運搬具(純額)	6,931	5,176
土地	3,157,566	3,157,566
建設仮勘定	11,000	29,600
その他	803,315	764,939
減価償却累計額	△637,443	△632,083
その他(純額)	165,872	132,856
有形固定資産合計	6,037,734	5,865,236
無形固定資産	133,194	126,800
投資その他の資産		
投資有価証券	64,906	55,513
繰延税金資産	205,567	146,179
その他	47,151	49,677
貸倒引当金	△3	-
投資その他の資産合計	317,622	251,370
固定資産合計	6,488,550	6,243,408
資産合計	17,321,535	16,829,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	946,745	905,943
1年内返済予定の長期借入金	2,322,352	2,323,514
未払金	801,990	822,265
未払法人税等	220,878	94,267
賞与引当金	131,429	117,904
ポイント引当金	33,109	32,024
その他	310,359	129,055
流動負債合計	4,766,864	4,424,974
固定負債		
長期借入金	6,351,363	5,720,036
環境対策引当金	13,568	13,568
退職給付に係る負債	154,246	163,842
資産除去債務	32,641	33,233
その他	177,097	97,101
固定負債合計	6,728,916	6,027,781
負債合計	11,495,781	10,452,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,419,209	4,874,240
自己株式	△151,110	△151,110
株主資本合計	5,867,540	6,322,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,177	6,277
繰延ヘッジ損益	△74,214	29,673
為替換算調整勘定	19,249	18,223
その他の包括利益累計額合計	△41,786	54,174
純資産合計	5,825,754	6,376,746
負債純資産合計	17,321,535	16,829,502



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	17,788,053	16,859,605
売上原価	9,724,473	9,164,903
売上総利益	8,063,580	7,694,701
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	2,339,561	2,248,378
貸倒引当金繰入額	19,111	14,473
ポイント引当金繰入額	24,295	32,024
給料手当及び賞与	1,851,269	1,777,958
賞与引当金繰入額	131,429	117,904
その他	2,644,268	2,690,806
販売費及び一般管理費合計	7,009,936	6,881,545
営業利益	1,053,643	813,156
営業外収益		
受取利息	4,427	5,567
受取配当金	1,429	1,620
受取補償金	27,217	35,059
為替差益	14,704	-
デリバティブ評価益	31,263	27,942
その他	28,519	24,442
営業外収益合計	107,562	94,633
営業外費用		
支払利息	89,277	78,587
為替差損	-	12,279
その他	2,696	6,026
営業外費用合計	91,973	96,894
経常利益	1,069,232	810,896
税金等調整前当期純利益	1,069,232	810,896
法人税、住民税及び事業税	328,261	241,761
法人税等調整額	11,978	16,686
法人税等合計	340,239	258,447
当期純利益	728,992	552,448
親会社株主に帰属する当期純利益	728,992	552,448

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	728,992	552,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,904	△6,900
繰延ヘッジ損益	△203,357	103,887
為替換算調整勘定	538	△1,026
その他の包括利益合計	△200,914	95,961
包括利益	528,077	648,410
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	528,077	648,410
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	3,797,377	△151,003	5,245,816
当期変動額					
剰余金の配当			△107,161		△107,161
親会社株主に帰属する当期純利益			728,992		728,992
自己株式の取得				△106	△106
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	621,831	△106	621,724
当期末残高	450,452	1,148,990	4,419,209	△151,110	5,867,540

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	11,273	129,143	18,711	159,128	5,404,944
当期変動額					
剰余金の配当					△107,161
親会社株主に帰属する当期純利益					728,992
自己株式の取得					△106
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,904	△203,357	538	△200,914	△200,914
当期変動額合計	1,904	△203,357	538	△200,914	420,809
当期末残高	13,177	△74,214	19,249	△41,786	5,825,754

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	4,419,209	△151,110	5,867,540
当期変動額					
剰余金の配当			△97,417		△97,417
親会社株主に帰属する当期純利益			552,448		552,448
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	455,030	—	455,030
当期末残高	450,452	1,148,990	4,874,240	△151,110	6,322,571

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	13,177	△74,214	19,249	△41,786	5,825,754
当期変動額					
剰余金の配当					△97,417
親会社株主に帰属する当期純利益					552,448
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,900	103,887	△1,026	95,961	95,961
当期変動額合計	△6,900	103,887	△1,026	95,961	550,992
当期末残高	6,277	29,673	18,223	54,174	6,376,746

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,069,232	810,896
減価償却費	318,283	303,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,656	△2,671
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,094	△13,524
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△10,357	△1,085
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,962	9,595
受取利息及び受取配当金	△5,856	△7,188
支払利息	89,277	78,587
為替差損益 (△は益)	567	△396
売上債権の増減額 (△は増加)	74,725	47,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	576,824	△204,402
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,598	△38,340
その他	△27,914	△120,810
小計	2,112,592	862,023
利息及び配当金の受取額	6,071	7,198
利息の支払額	△88,065	△77,925
法人税等の支払額	△312,469	△363,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,718,128	427,681
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,001,200	△2,433,600
定期預金の払戻による収入	2,400,000	2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△33,149	△37,740
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△12,958	△44,177
投資有価証券の取得による支出	△2,234	△546
投資有価証券の売却による収入	0	—
その他	50	3,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649,492	△13,030
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,400,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△2,519,242	△2,530,165
自己株式の取得による支出	△106	—
配当金の支払額	△107,221	△97,506
その他	△70,908	△68,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,297,479	△795,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△1,005
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△228,782	△382,206
現金及び現金同等物の期首残高	2,814,882	2,586,099
現金及び現金同等物の期末残高	2,586,099	2,203,893

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」135百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」205百万円に含めて表示しております。

(セグメント情報)

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品を販売する業態別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品や顧客に対する販売促進施策等について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は各事業部門を基礎とした販売業態別セグメントから構成されており、「通信販売事業」、「ディスカウント事業」および「卸販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の主な内容は次のとおりであります。

- (1) 通信販売事業・・・自社企画開発商品を中心とした、カタログ、インターネットによる靴・履物、衣料品、日用雑貨品等の販売
- (2) ディスカウント事業・・・ディスカウント業態の店舗による靴・履物、食料品、衣料品、日用雑貨品等の販売
- (3) 卸販売事業・・・OEM開発商品を中心とした、大手小売店、量販店等への靴・履物等の販売

### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会社方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,357,573	7,871,443	559,036	17,788,053	—	17,788,053
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,357,573	7,871,443	559,036	17,788,053	—	17,788,053
セグメント利益	1,238,370	128,771	58,943	1,426,085	△372,442	1,053,643
セグメント資産	5,157,489	5,235,193	267,845	10,660,527	6,661,007	17,321,535
その他の項目						
減価償却費	148,980	148,276	10,943	308,200	10,083	318,283
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	25,607	29,158	623	55,389	—	55,389

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△372,442千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額6,661,007千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,786,659	7,628,893	444,052	16,859,605	—	16,859,605
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,786,659	7,628,893	444,052	16,859,605	—	16,859,605
セグメント利益	1,055,931	78,227	44,903	1,179,062	△365,905	813,156
セグメント資産	5,279,498	5,158,215	252,530	10,690,245	6,139,257	16,829,502
その他の項目						
減価償却費	147,727	135,771	9,982	293,482	10,035	303,518
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	61,741	61,258	845	123,845	5,286	129,132

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△365,905千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額6,139,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産	1,196円04銭	1,309円16銭
1株当たり当期純利益	149円66銭	113円42銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	728,992	552,448
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	728,992	552,448
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,870	4,870

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。